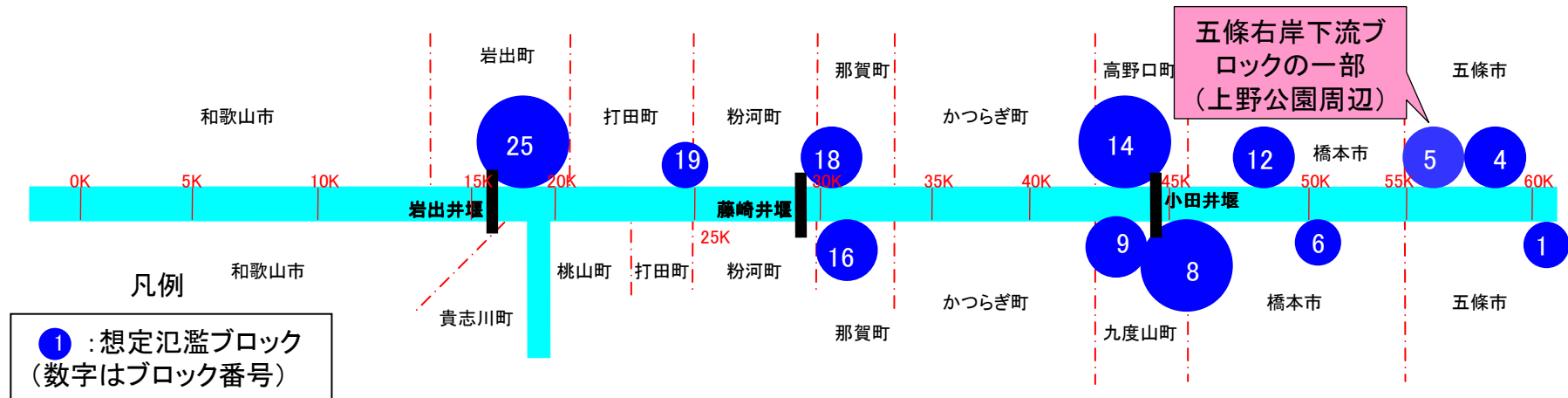


遊水地の候補地の抽出

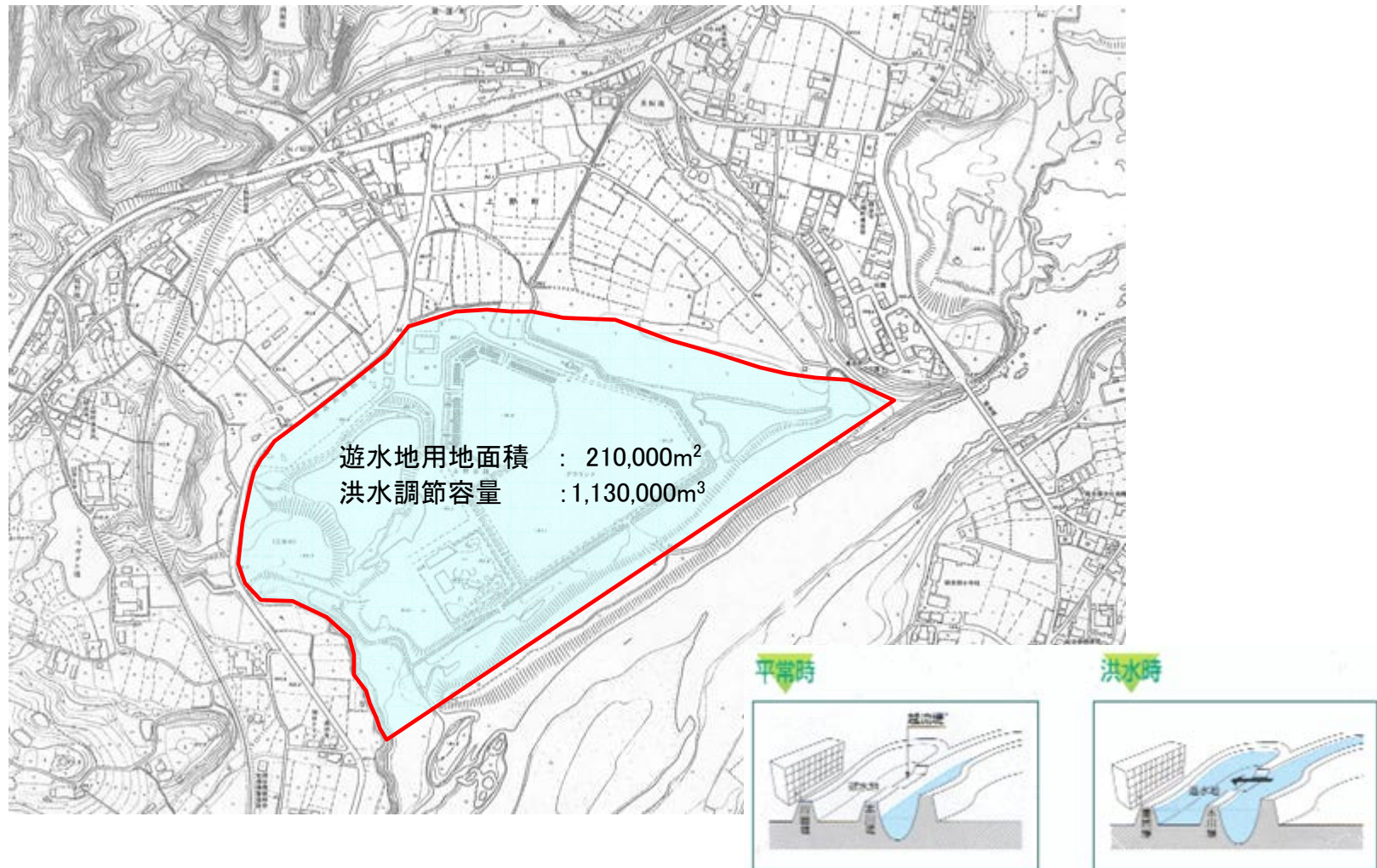
遊水地の候補地の抽出

各浸水想定ブロックにおいて、「人家の立地のない氾濫域」となる浸水想定ブロックの候補地はなかった。そこで、浸水想定ブロックの一部で「人家の立地のない氾濫域」がある地区を抽出し、遊水地の効果を検討する。



遊水地の候補地(上野公園)

上野公園を遊水地として活用するには、活用方法や補償、地形等の課題があり、今後、管理者(五條市)との協議・調整が必要である。



流出抑制効果の検討

想定した遊水地の効果

(昭和34年9月型洪水(伊勢湾×1.0))

湛水地を全て貯水できた場合の流出抑制効果は、以下のとおりである。

単位:m³/s

	岩出	藤崎	小田
S34.9(1.0倍)流出量	6,640	6,200	5,840
S34.9(1.0倍)遊水地後流出量	6,480	6,040	5,660
流出抑制効果	160	160	180

当該効果は最大値である

※遊水地の流出抑制効果は、貯留関数により求めた遊水地付近における洪水流量ハイドロに対し、洪水のカット量と遊水地の貯留量が等しくなるように計算している。